

味わい、学ぶ。郷土の先哲

学校給食に「久留島流すき焼き」 小田小学校で特別授業も実施



知るともっと好きになる
私たちのふるさと玖珠町

玖珠町では、子どもたちが郷土への理解を深めるとともに、郷土を愛し、より良くしようとする気持ちの育成を目的に、学校教育の中で久留島武彦をはじめとする郷土の先哲に学ぶ学習を推進しています。

この取り組みの一環で、2月4日、町内すべての小中学校と幼稚園で久留島武彦先生についての学習も行われ、また、この日の給食メニューも、「久留島流すき焼き」でした。



玖珠町はなぜ童話の里？
金成妍館長の特別授業も

当日、小田小学校では、久留島武彦記念館の金成妍館長が来校し、全校児童と地域の方などを対象に特別授業を実施しました。全国各地をたび回り、たくさんのお話を聞かせてきた久留島先生。先生の大好物が「すき焼き」だったことや、童話作品や口演活動を通して子供たちに伝えたかったメッセージなどを、館長から、わかりやすくお話していただきました。



久留島先生が愛した「久留島流すき焼き」を学校給食で再現

楽しく学んだあとは、お待ちかねの給食タイム。久留島先生こだわりの作り方で、「おおいた和牛」と野菜や米など玖珠産の食材をふんだんに使用して再現した「久留島流すき焼き」に子供たちは大喜び。おかわりする子どもも出る人気ぶりでした。町が誇るおいしい食材を五感で味わい、しっかり学習できた様子でした。



写真左から、宿利町長、渡邊会長、工藤幹事、梶原教育長

玖珠ライオンズクラブの
寄附で実現

今回の「久留島流すき焼き」のため、玖珠ライオンズクラブから「おおいた和牛」の購入費の一部として、10万円が町に送られました。役場を訪れた渡邊会長は、「食を通じて子供たちに久留島先生をより深く知ってもらい、郷土愛が育まれることを願っています。今後もこの取り組みを応援していきたい。」と話されました。